

独立行政法人労働者健康安全機構  釧路ろうさい病院

地域医療連携総合センターだより

No.50



I. 登録医とは？地域医療支援病院について

II. がん相談支援センターについて

III. 最新3Dマンモグラフィ導入について



発行：2018.3 釧路労災病院地域医療連携総合センター

理念：最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

登録医とは？地域医療支援病院について

専門的治療や入院が必要な時、かかりつけ医からの紹介状により基幹病院で診療を受け、診断が確定したり症状が安定したら、また紹介状でかかりつけ医に戻る仕組みを「地域医療連携」といいます。これは国が2025年をめざして推進している「地域包括ケアシステム」の一部であり、基幹病院や開業医等の機能・役割分担を明確にしたものです。

かかりつけ医の先生方が釧路労災病院の「登録医」となっていただくことにより、当院の開放型病床等において共同で診療できるシステムがあります。登録医の先生と当院主治医が互いに患者さんの治療経過や検査結果等を把握することで、より地域医療連携をスムーズに行うことができます。患者さんにとりましても、かかりつけ医が共同で診療していただくことは大きな安心や信頼につながります。

当院はこのような地域医療を担う「地域医療支援病院」の承認を受けています。（平成24年10月）地域医療支援病院とは地域に必要な医療を確保する目的から、病院・診療所などの「かかりつけ医」を支援する病院です。当院では145施設175名（2018年3月1日現在）の医師に登録していただいております、地域医療連携を積極的に推進しています。



地域医療支援病院の役割・条件について

- ・24時間体制の救急医療を提供する
- ・地域の医療機関に対して、高額な医療機器や病床を提供し共同利用する。
- ・地域の医療従事者の医療技術向上のため、生涯教育などの研修を実施。
- ・施設が必要な構造を有している。

- ・登録医の参加を希望される場合には、地域医療連携総合センターまでお問い合わせ願います。また、ホームページにも申請書がございますのでご確認ください。
- URL <http://kushiroh.johas.go.jp>
お問い合わせ先：0154-32-3465（センター直通）



がん相談支援センター

がんについていろいろな相談ができる「がん相談支援センター」は全国の「がん診療連携拠点病院」にあります。がん診療連携拠点病院は、全国どこにお住まいでも質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した施設です。指定された施設は、がん医療の内容や設備、がん関連の情報提供などについて、一定の基準を満たしています。（当院H21年4月指定＝がん診療連携拠点病院）

がん相談支援センターは、がんのことやがんの治療について知りたい、今後の療養や生活のことが心配など、がんの医療にかかわる質問や相談におこたえしています。お悩みの方がおりましたら、当院までご紹介願います。

※がん相談支援センターは担当医に代わって診断・治療内容について判断するところではありません。

がんになっても自分らしく安心して生活できるように支援します

～釧路労災病院では各分野で専門的知識をもった職員が相談に対応させていただきます～

患者さん、ご家族の方、当院受診の有無にかかわらず、どなたでもご利用いただけます。がんに関するご相談（がん治療や療養生活、不安や悩み、緩和ケアについてなど）に対して、専任のがん相談員がお話をうかがい、一緒に考え、解決に向けて患者さん・ご家族をサポートします。また、がんに関する各種パンフレット、無料インターネットなどもご用意しておりますので、お気軽にご利用ください。



がん相談窓口（地域医療連携総合センター内）



プライバシーに配慮した相談室



各種がんに関する冊子

- ・相談日：月曜～金曜（土日祝は除く）
 - ・時間：午前8時15分～午後5時（受付午後4時30分まで）
 - ・場所：地域医療連携総合センター内（がん相談支援センター）1階
 - ・相談料：無料
- お問合せ先：0154-22-7191（代表）

最新3Dマンモグラフィ導入

～従来のマンモグラフィで判断しづかった「しこり」についても明確な診断が可能～

従来のマンモグラフィ（2D-MMG）は、圧迫した乳房をX線で撮影するため、乳腺組織の重なりにより病変の描出が難しい場合があります。閉経後の患者さんでは、乳腺が減って脂肪組織が増えるためわかりやすいのですが、若年者や乳腺の多い方ではどうしても判定が困難になってしまいます。3Dマンモグラフィ（3D-MMG）は、撮影角度を変えて複数の方向から撮影し、収集したデータを3次元的に再構成することにより、重なりを排除することが可能なため乳癌の発見率向上や偽陽性率の低減など、診断能の向上が可能になります。当院では平成30年4月より、最新3Dマンモグラフィ装置の運用を開始いたします。